

媒体名	産経新聞
掲載日	2004年4月7日(水)

大阪で癒やしのマンガ喫茶人気

広さ約百八十平方メートルのスペースに二十五席を個室形式で配した店内は、黒を基調に間接照明をとり込み、落ちついた大人のムード。フロアにはマイナスイオン発生装置五台を設置するとともに、全席に革張りのイスを採用し、心地よい空間を創出している。

「マンガ喫茶という、タバコにおいがして清掃が行き届いていないイメージが強い。そこでマイナスイオンで

癒やし、をテーマにしたマンガ喫茶「M#DRIVE(エム・ドライブ)」が、大阪市淀川区西中島にオープンし、人気を集めている。マイナスイオン発生装置をはじめ、リクライニングチェアやマッサージ機など、癒やしのための必需品を完備。非日常的なくつろぎの空間を手軽に楽しめる。大人のための隠れ家、をキャッチフレーズに、急速に売り上げを伸ばしている。

「M#DRIVE」マイナスイオン発生装置、リクライニングチェア、マッサージ機……



マイナスイオン発生装置などを導入して、癒やしの空間を創出する「M#DRIVE」の店内—大阪市淀川区西中島

清潔な空気を保ち、大人のための空間を提供したかった」ボックス」など多彩なタイプと、オーナーで駐車場開発会社、DC開発研究所(広島県福山市)役員村上栄二さん(三)はいう。

店舗は、同社が経営するコインパーキングと月ぎめ駐車場の二階部分にある。二階はもともと貸倉庫として活用していたが、平日の昼間時間帯以外はコインパーキングの稼働率が低いため、採算性を高めようとして日中も利用が見込める喫茶店に改築。マンガ喫茶「コミックバスター」をフラッシュアップする。村上さんは「『いい店だからもうかる』という考え方を大切にしている。売り上げ一客席は、リクライニングチェアで足をゆったり伸ばしながらテレビやインターネットも楽しめる「リラックスボックス」や、足裏マッサージ機とテレビを備えた「ヘルスケアボックス」、ネット利用を

店舗は、同社が経営するコインパーキングと月ぎめ駐車場の二階部分にある。二階はもともと貸倉庫として活用していたが、平日の昼間時間帯以外はコインパーキングの稼働率が低いため、採算性を高めようとして日中も利用が見込める喫茶店に改築。マンガ喫茶「コミックバスター」をフラッシュアップする。村上さんは「『いい店だからもうかる』という考え方を大切にしている。売り上げ一客席は、リクライニングチェアで足をゆったり伸ばしながらテレビやインターネットも楽しめる「リラックスボックス」や、足裏マッサージ機とテレビを備えた「ヘルスケアボックス」、ネット利用を

主眼にした「インターネットボックス」など多彩なタイプがあり、ほかに高級マッサージチェアを利用できるコーナーも設けている。

コミックは二万冊をそろえ、飲み物はフリーズドリンク形式。一時間四百二十円、以降は十五分ごとに九十円の延長料金で利用できている。食事つきで一時間六百八十三円から利用できる「ランチパック」なども設定して集客力を高めており、駐車場経営と合わせた月商は、開店前に比べ約五百万円に倍増したという。

村上さんは「『いい店だからもうかる』という考え方を大切にしている。売り上げ一客の満足度を追求したい」と話している。

年中無休で二十四時間営業。問い合わせは同店(☎06・6885・5151)へ。